

「広域交流観光」部会での協議内容について

- 1 日 時 平成21年8月28日(金)午後3時10分～4時00分
- 2 会 場 鳥取市役所本庁舎6階全員協議会室
- 3 出席者 委員(7名)
林副市長、田中観光コンベンション推進課長、林鳥取・因幡の祭典推進局参事
(事務局：鹿田企画調整課長補佐、田中)

4 議事概要

(1) 部会長・副部会長選出について

部会長 寺本 光孝 氏
副部会長 吉田 茅穂子 氏

(2) 鳥取市の取組状況について

- 田中観光コンベンション推進課長
- ・現在は滞在型、着地型観光が主流、広域的な圏域で協力して観光客を招致する時代。
 - ・鳥取東部＝因幡においても祭典を開催、砂像フェスティバル等様々なイベントを行っている。
 - ・祭典後の観光連携について、1市4町の行政レベルで協議を進めており、民間の観光協会においても、ネットワーク形成の話し合いを進めている。
 - ・ジオパークの世界登録に向けて：認定されれば素晴らしい観光素材となる。3府県の連携を強化していこうと考えている。

林鳥取・因幡の祭典推進局参事

- ・実行委員会は官民一体の組織であり、地域の盛り上げはもちろん、観光客を呼びいれるため、広域的な取り組みを行っている。

(例) 砂像フェスティバルは目標を大きく超える来客数となった。

年度末にはジャンプアップイベントを計画している。

地域のイベントを応援(補助金、広報)

観光キャラバンを組み、関西等に営業

大阪光のルネサンスに砂像を持ち込み、鳥取をPR

- ・広域連携を来年度以降もつなげていくため、ポスト祭典の組織を作ろうと協議を重ねている。

(3) 部会のテーマについて(意見交換)

- ・時間が限られており、その場で考え発信するのは難しい。
- ・テーマをしぼった上で、会までに勉強しておくことも必要。
- ・ポスト祭典とジオパークにしぼってはどうか。
- ・観光資源はある。どのように発信していくか、どうしたら届くか、知恵を出していく。

【ジオパーク】

- ・まずは地元の人に良さを伝えるべき。愛着があれば他県にもアピールできる。
- ・何ができるか、どのような運動をしたらよいのか知りたい。

配布資料(3種類)も参考に、次回(11月)はジオパークへの思いを持ち寄っていただく。

5 配布資料

山陰海岸ジオパーク パンフレット等 3種類